

春の雪

2月から3月にかけては、1月下旬から2月上旬の1年間で最も寒い時期がすぎ、気温が上がっていく時期となります。しかし、この時期がもっとも大雪が降る時期というのはご存じでしょうか。日立市役所での積雪の記録で、多い方から10位までのうち、2月中旬から3月にかけて降ったものが、7つも占めています。

日立市で大雪を降らせるのは、今年の1月22日のような「南岸低気圧」の時となります。最も寒い時期は、冬型の気圧配置が続くため、南岸低気圧は少ないですが、2月から3月にかけては、冬型が崩れてくる影響で、南岸低気圧が多くなるためです。

気温が1℃変わるだけで、降ってくるものが雪か雨か変化します。また、このような、雪と雨との境目付近の気温の時は、降水量も多くなるため、雪となった場合は、積雪も増えてしまいます。

「南岸低気圧」は、低気圧の南側と北側で気温の差が大きく、発達することが多くあります。寒暖の差が大きくなったり、強風が吹くなど、雪以外でも、注意が必要な低気圧です。

今年の春の気候は

気象庁の長期予報によりますと、関東地方は、気温は前半を中心に低く、降水量はやや少ない見込みです。

平年の値（日立市役所）

項目	3月	4月	5月
平均気温（℃）	7.2	12.1	16.1
降水量（mm）	107.5	131.9	152.5
日照時間（時間）	178.8	178.8	163.9
平均湿度（%）	63	68	75

平年値（1981～2010年の30年間の平均）

【3月から5月の1953年からの極値の記録】

○日最大瞬間風速

38.5m/s（1963年3月25日）

過去の気象の特徴は月ごとにホームページに掲載しています。

生活安全課と共同運用の「日立市の防災と天気」Facebook ページと Twitter もご利用ください。

※日立市の天気予報は、天気相談所ホームページで毎日発表しています。<http://www.jsdi.or.jp/~hctenso> 行政放送でも定期的に天気予報をお知らせしています。電話での問合せは、直通電話 22-5520 IP 電話 050-5528-5066 へどうぞ。